

平成28年 5月10日

学校教育計画 (平28年度～平成31年度)

| | | | |
|-----|--------|------------------|-----------|
| 学校名 | 橋本高等学校 | 課程・学科 教育部門・学部 | 全日制課程普通学科 |
|-----|--------|------------------|-----------|

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に因るため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、自主・自律の精神の涵養を図り、生徒の規範意識、学習意欲、進路意識の向上に取り組むとともに、自国の文化や習慣を大切にし他国の文化や習慣を理解できるよう、国際理解教育の推進に取り組んできたが、今後はさらに、生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした普段の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向け、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

心身ともに健全で、広い視野と豊かな人間性をそなえ、世界の平和と繁栄に貢献できる人間を育成する。

- 常に目標を高く掲げ、自己啓発に努め、自らの将来を切り開く力を培う。
- 民主社会の担い手として、優れた判断力と強い責任感を備えた人間を育てる。
- 国際社会の一員としての自覚を持ち、自国の文化や習慣を大切にすると同時に、他国の文化や習慣を理解できる人間を育てる。

3 計画作成時点での課題

- 生徒の家庭学習時間が少なく、主体的に学ぶ意欲に課題が見られる。
- 学校行事や部活動には積極的かつ自主的な行動が見られるものの、学習面においては、まだまだ消極的な姿勢が見られる。
- 高大連携に消極的な姿勢が見られる。
- 上級学校への進学者の中には、推薦入試やAO入試に頼りがちで、第一志望でなく進学していくケースが見られる。
- 生徒の活動を取り入れた授業改善に一定の成果は見られるものの、今後も組織的な授業改善の推進が必要である。
- 外国とつながりのある生徒への支援体制について、脆弱性が見られる。
- インクルーシブ教育の視点を踏まえ、分教室との連携を推進する必要がある。
- ヒヤリハットの具体的な事例を示し、事故防止会議を行っているが、職員の認識に温度差が見られる。
- 教育力継承に向けたナレッジマネジメントに脆弱性が見られる。

4 4年間の目標と主な方策

| | 視点 | 4年間の目標 | 目標達成に向けた主な方策 |
|---|---------------------|---|--|
| 1 | 教育課程 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の向上と学習習慣の確立を目指す。 上級学校への意欲喚起を図る。 学校の特色である国際理解教育をさらに深化させるための事業を推進する。 学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> 確かな学力の定着に向け、アクティブラーニングの視点を踏まえた授業の教員研修を推進し内容の充実を図る。 高大連携の活性化を図る。 EBS(朝の学習)の充実やALC(土曜講習)の定着を図る。 GTECやVocabularyContest、英検試験等を通し英語力の向上を図る。 武道教育を通して伝統文化を学び、その精神を日常生活で活かす。 姉妹校交流、国際理解輪講等を通じて、国際感覚を育成する。 学校行事の充実を図り生徒の自主性を育成し、自己有用感や達成感を持たせる。 |
| 2 | (幼児・児童・) 生徒指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> 生徒個々に応じた、支援体制の充実を図る。 生徒の規範意識の醸成を図る。 部活動の活性化を通して責任感や連帯感、感謝の気持ちの涵養を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針を基に、生徒相談体制の充実を図る。 教育相談コーディネーターを中心に、教育相談体制、ケース会議の充実を図る。 外国に繋がりのある生徒の学習支援や生徒指導支援体制の充実を図る。 基本的生活習慣の確立を図る。 部活動加入率を上げ、学校としてのチーム力強化を図る。 いじめ防止の授業、人権教育の推進 |
| 3 | 進路指導・支援 | 生徒の自主・自律の精神の涵養を図り、卒業後の希望進路実現に向けて、積極的に社会参加するための能力と態度を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> インターシップへの積極的参加を図る。 模試を活用した三者面談の充実 説明会やガイダンスを活用し、きめ細かな指導体制の充実を図る。 総合的な学習の時間等によるキャリア教育の充実を図る。 学習到達度テストや外部の業者テストを活用し、進路実現を図る。 |
| 4 | 地域等との協働 | 積極的な情報発信や貢献活動を展開し、保護者や地域の期待に応えるとともに、協働と信頼に根ざした学校づくりを推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の防災訓練参加や福祉委員による地域の行事へのボランティア参加を通して、連携を深める。 PTAおよび地元警察署と連携し、地域の交通安全指導の推進を図る。 部活動を通して、地域や行政機関とのふれあい教育を推進する。 学校説明会やホームページ等を通して学校の情報発信を推進する。 交通安全デーや生き生き学校生活推進運動を推進し充実感を持たせる。 授業参観で、地域と密接な関係を図る。 |
| 5 | 学校管理 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> 教職員の資質能力、専門性の向上を図る。 事故・不祥事防止と危機管理意識を高め、安全で安心できる教育環境の整備を推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> 計画的な強固な組織づくりを推進し、運営のチーム力強化を図る。 事故防止会議等により、風通しの良い職場づくりを推進する。 適材適所な人材配置を行い、機能的かつ効率的な業務運営を図る。 教育力継承に向け、ナレッジマネジメントの構築を図る。 |